

幻想的 時空さんぽ

スマホでスタンプラリーも



デジタルスタンプの取得画面
(松花堂庭園、11月20日)

松花堂昭乗が男山山腹からせり出すように造った今はなき空中茶室「閑雲軒」と「松花堂」をテーマにした、「時空×観光」の実証事業「京都・やわた時空さんぽ」を11月20日から市内で展開しています。

この事業は、新型コロナウイルスの影響を受け、域内連携で観光地の磨き上げを目指す。また、令和4年2月13日まで、昭乗ゆかりの地や神仏和合の地を巡り、スマートフォンでスタンプを取得する「デジタルスタンプラリー」を実施。参加者は、昭乗が晩年を過ごした草庵「松花堂」のある松花堂庭園(現在、内園工事中)や、お墓のある泰勝寺を訪れ、昭乗が生きた時代に思いをはせていました。



あかりが灯った竹のオブジェ(11月20日)

観光庁の支援のもと、観光協会やお茶の京都DMO、京阪HDなど、さまざまな団体と連携し市が主催。11月20、21日には、「竹あかりの夕べ」星への旅」を松花堂美術館交流広場で開催。美術家・澄毅さんがデザインし、NPO法人八幡たけくらぶが制作した竹のオブジェにあかりが灯り、辺りが柔らかな光で包まれました。



竹灯籠の灯りでライトアップされた社殿(11月12日撮影)

石清水八幡宮に希望の灯り

11月12日から石清水八幡宮でJR東海による「ひかりの京都」キャンペーンが行われており、社殿や参道が竹灯籠の灯りで照らし出されています。

観光振興キャンペーン 今月5日まで

同宮の参道沿いには、京都産の竹で制作された竹灯籠がいくつも並べられ、柔らかな灯りが参拝者をお出迎え。参道を進んで門をくぐる

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

青空の下 健幸、づくり

健康づくりに取り組むきっかけにする「健幸マルシェ」を11月17日、松花堂美術館交流広場で開催し、約300人が健康に役立つさまざまな知識に触れました。

このイベントは、「気づき、体験、出会い」をコンセプトに、疾病・運動・食などの分野で健康づくりに取り組んでもらおうと、協定を締結する企業などと連携して市が主催。

会場では大塚製薬の栄養・休養の勉強コーナーや、八幡市食生活改善推進員協議会作成の献立集配布などのブースを出展。ま

た、GUNZEのインストラクターによる「青空ストレッチ」では、参加者が脚を前後に開いたり、胸に抱えたりし、下半身回りのストレッチを実践していました。

同時に、ウォーキングイベント「まちウォーク」も開催。参加者は、約4kmのコースを歩きながら、チェックポイントで謎解きに挑戦していました。

「青空ストレッチ」に参加した峠奈々さん(34)は「青空の下でリフレッシュできました」と笑顔で話していました。

多彩な催し 参加者笑顔



青空の下でストレッチをする参加者たち

今月のこの人 ゲームもリアルも夢はトップドライバー



そが そうた 曾我 爽太さん

令和3年10月16、17日開催の「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2021MIE」のグランプリシリーズMSPORT部門U-18の部に京都府代表として出場。男山中学校出身。17歳。

本物さながらのカーレースが繰り広げられる対戦ゲーム「グランツーリスモSPORT」。曾我さんは、3年連続で京都府代表として全国都道府県対抗eスポーツ選手権に出場し、全国のライバルと腕を競っています。「レーシングドライバーになりたい」という夢がある曾我さん。中学1年生からレーシングカートに乗り始め、走行テクニック向上のためレーシングゲームにも取り

組んできました。ゲームをスポーツ競技として捉える「eスポーツ」が世界で広がると、令和元年には同選手権が国体の文化プログラムに決定。それをきっかけに、本格的にeスポーツに参戦しました。「相手を抜かずオーバーテイクが得意」で、昨年の国体で4位入

賞するなど、ますますの活躍が期待される曾我さん。「来年の国体では日本一を目指して、世界で活躍できるeスポーツドライバーになりたい。そこからレーシングドライバーの夢にも近づきたい」と、ゲーム(仮想)とリアル(現実)、二つの世界でトップを目指します。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。